

月刊 ケアマネジメント

8月号

特集

在宅生活を続けるための 『見守り』



特別企画

摂食嚥下障害の予防

“のど活”でのどの筋肉を鍛えよう

連載

長尾和宏の「在宅介護を快適にする極意」

ケアマネが主導する意思決定支援

カナダのコロナワクチン接種事情

視点

特別養護老人ホームへの入所は誰が支援するのか

最小のコストで全職員に学びの効果を 「オンライン研修」始めませんか

介護業界でいち早くオンライン研修を開始。新型コロナウイルス禍、外部研修に参加できない事業所や研修担当の作業負担をゼロに。

e-ラーニングのパイオニアだから 現場のニーズにいち早く対応

新型コロナウイルス禍となって急速に普及したオンライン。リモートワークはもちろん、研修やセミナーも従来一般的だった集合型の研修に代わり、オンラインでの開催が当たり前となった。

介護・福祉現場に携わる多様な職種を対象に、各種研修を提供しているお茶の水ケアサービス学院（東京都千代田区、神智淳代表取締役）は、このような社会になるとは誰も想像していなかった18年ほど前から、全国各地での集合形式のフォローアップ研修と併行してオンライン研修を取り入れたパイオニア的な存在だ。

「いわゆるe-ラーニングと呼ばれていましたが、介護・福祉業界ではおそらく一番早くに始めたと思います。早過ぎて、当時はほとんど受け入れられませんでしたけれどね」

明るいお茶目な笑顔でそう話すのは、創業者で代表取締役を務める神智淳さんだ。認知症の高齢者が増え、BPSD（認知症の周辺症状）に悩まされる介護現場も少なくなかった。認知症のことを勉強したくても疲れて研修に行けない。そんな様子を見て、わざわざ研修会場に出向かなくても働いている職場や自宅で学ぶことができる方法を、と始めたのがそもそもの理由だという。

お茶の水ケアサービス学院
神智淳さん



お茶の水ケアサービス学院長
コ・メディカルアカデミー学院長
老年学修士・日本健康医学会監事・福祉サービス第三者評価者

最初はなかなか理解されなかったが、パソコンやスマートフォンの普及や通信環境の向上とともに顧客も増えていった。だが、またもや壁にぶつかった。

「一コマの講義時間が長過ぎる、と言われてしまったんです。誰が受講しても理解できる、知識を深く習得できるようにと作り込んでいたのですが、実際に介護の現場で働く人たちにヒアリングしてみると、長時間視聴できる余裕がない、できるだけ短い時間にしてほしいと、...。でもそれがターニングポイントになりました」（神さん）

「使いやすさ」にとことんこだわって 研修担当者も受講者も負担激減

現場の声に答えようと、神さんは大幅なリニューアルに着手。まずは5、6時間あった1つの研修を30～40分ずつのコンテンツに構成し直すとともに、基礎的な介護知識や業務の基本となる内容を短時間で学びたいというニーズにも対応した「30分研修シリーズ」「15分研修シリーズ」もラインナップに。さらに、研修の提供方法自体もe-ラーニング研修システムからインターネット配信に切り替えたのである。ストリーミング配信で、音声や動画のデータが保存されないため、端末の容量を気にしなくていい。もちろん、スマートフォンでもOKで、何度でも視聴できる。また、パスワードは事業所に1つ発行するだけにして、

職員であればだれでも使えるようにした。これで年間定額の18万1500円（税込）だ。

「それまで20年以上研修を開催してきた実績があったため、コンテンツの充実には自信がありました。あとはどうすれば使い勝手を良いと思ってくれるのか、利用者目線できるところを考えてこのネット配信サービスに行きつきました」（神さん）。2018年からネット配信研修を本格始動させている。

神さんは学びたいと思った時に、すぐに簡単に視聴できることが最も重要なことだと話す。この提供法に切り替えてから契約事業所は一気に増え、現在では3900事業所と契約しているという。1年経って継続した事業所は8割、その9割は3年目も契約している実績からも、顧客満足度の高さがうかがえる。

実際、契約している介護事業所からは次のような声が上がっている。

「研修に参加させるためのシフト調整にかかる労力と、参加費の負担が嘘のように解消されました」（グループホーム管理者）

「e-ラーニングの時は職員1人ひとりにパスワードを発行するだけでも大変な作業。なのに半数以上の職員が研修を受講しない状況でした。ネット配信研修になり、パスワード1つで使い回して値段も安くなった上、毎週のように新しい研修が配信されるので職員も関心を持ってきたようです」（老人保健施設施設長）

研修は人材育成の重要な要だ。どこの事業所でも重視しているが、お金と時間と労力を注いでもそれに

見合う効果が得にくいと感じている人は少なくないのだろう。

お茶の水ケアサービス学院が提供しているネット配信研修は「フォローアップ研修」と「介護技術動画マニュアル」の2本建て。フォローアップ研修は認知症ケアや感染症予防、拘縮予防など介護の専門的な知識を学ぶものや事業所の管理・運営、介護計画の作成・評価、介護サービス情報の公表の理解と書類整備、など事業運営の実務に関するものまで幅広いコンテンツが703本も配信中だ。

「研修のあり方も選択肢がたくさんあり、それぞれの事情に応じて選べるのが継続した学びにつながります。これからもそういうニーズに応えられる研修を考えて提供していきたいですね」（神さん）

フォローアップ研修ネット配信中

「ケアマネジャー実践塾！ 居宅サービス計画書のつくり方、書き方」 講師：後藤 佳苗

「ケアすることの根拠」 講師：三好 春樹

「サービス提供者向け研修」 講師：佐藤 ちよみ
ほか多数のコンテンツ

○重要なのは「使いやすさ」
操作は簡単！
パソコンの知識はほぼ不要

○いつでもどこでも
何度でも何人でも視聴可能

○研修コスト・研修担当者の負担軽減



※動画撮影風景

21年8月申し込みキャンペーン

年額181,500円（税込）
→年額限定価格48,500円（税込）



日本健康医学会賛助会員
お茶の水ケアサービス学院

〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-10-3 紀繁ビル1F
TEL. 03-3863-4000(代表) FAX. 03-3863-4006
E-mail info@o-careservice.com URL https://www.o-careservice.com
東京都指定調査機関 社団法人シルバーサービス振興会指定研修機関 公益財団法人東京都福祉保健財団指定研修機関

